

河川などへの水質事故を防ぐために、 油類貯蔵タンクからの油流出事故等に注意ください。

河川の水は、水道水やかんがい用水などに利用されていますが、油流出事故の発生により河川へ油が流れ込んだ場合、取水停止など重大な被害を与える可能性があります。また、河川に棲む魚類等の生物にも大きな影響を与えます。

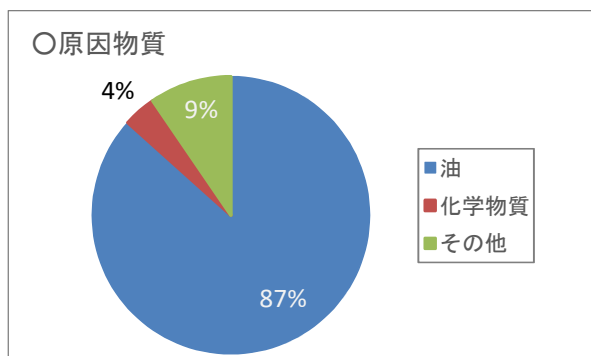
例年、一般家庭のホームタンクや事業場の貯蔵タンクから灯油等の燃料漏れが原因で、河川などに流れ出す事故が多い状況です。

その原因としては、タンクの配管損傷（老朽化等）、タンクへの給油中の油漏れ、工場内のボイラー等の送油管損傷等が挙げられますが、その多くは点検不備や操作ミスによるものです。

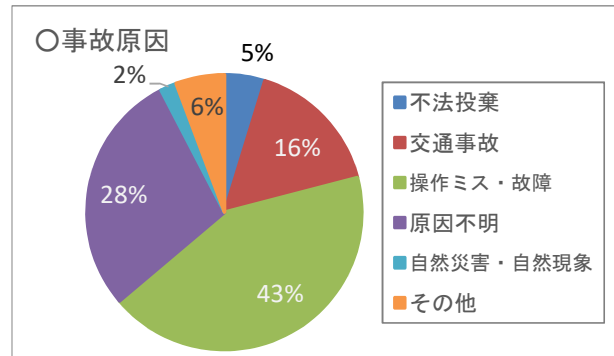
日頃から油の取扱い注意・点検などを行ってれば、河川などへの油流出事故を防ぐことが可能です。

なお、油類等の事故により河川等に流出した場合には、その回収・処理に要した費用は原因者の負担となります。

■石狩川下流域（一級水系）における水質事故の原因物質・発生要因（H27～R1：5か年平均）



※油類の流出事故は約9割を占める。



※原因が判明している中では、操作ミス、機械の故障などによる水質事故が最も多い。

『きれいな河川を守るためにも、油の取扱いに十分注意を。』

- ・タンク、配管の点検。
- ・バルブの閉め忘れを確認。
- ・給油中は目を離さない、その場を離れない。
- ・油がこぼれたら速やかに回収。

『もしも、油が流出したら』

すぐに、最寄りの市町村・消防署に連絡してください。
【速やかな対応が被害の拡大を防ぎます。】

皆さまのご協力をお願いいたします。

北海道一級河川環境保全連絡協議会石狩川下流部会
事務局：北海道開発局札幌開発建設部公物管理企画課